

# 製品安全データシート

[ 混合物用 (塗料用) ]

整理番号 AFM-2006-608

製造者情報	会社名	アメリカン・フォーミュレーティング・アンドマニュファクチュアリング	
	住所	3251 サードアベニュー、サンディエゴ、カリフォルニア. U.S.A.	
輸入社情報	会社名	エイ・エフ・エム ジャパン株式会社	
	住所	〒501-6331 岐阜県羽島市堀津町横手3丁目 18-2	
	担当部門	AFM 事業部	担当者 野村 三喜男
	電話番号	058-398-3688	FAX 番号 058-398-3123
	緊急連絡先	担当部門と同じ	電話番号 担当部門と同じ
	作成者	野村 三喜男	作成・改定 2006.11.20
	製品名	セーフコート ベーパーバリア・クリア	
製品の特定	製品情報	種類 : 水性アクリルエマルジョン塗料 主な用途 : 建築防湿用	
	危険有害性の要約(1)	<p>[GHS 分類]</p> <p>急性毒性 経口 : 区分外          経皮 : 区分外          吸入 (ガス) : 区分外          (蒸気) : 区分外          (粉塵、ミスト) : 区分外</p> <p>皮膚腐食性/刺激性 : 区分外          眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分外          呼吸器感作性 : 区分外          皮膚感作性 : 区分外          生殖細胞変異原性 : 区分外          発癌性 : 区分外          生殖毒性 : 区分外          授乳に対する、または授乳を介した影響 : 区分外          特定標的臓器/全身毒性 (単回ばくろ) : 区分外          (複数ばくろ) : 区分外</p> <p>吸引性呼吸器有害性 : 区分外          水性環境有害性 (急性) : 区分外          (慢性) : 区分外</p> <p>[GHS ラベル]</p> <p>[絵表示] : 必要無し          [注意喚起語] : 必要無し          [危険有害性情報] : 無し          [注意書き]</p> <p>&lt;&lt;予防策&gt;&gt;          保護眼鏡/スプレー塗装の場合には着用が望ましい。          換気/塗装中、および塗装後3日間は十分な換気が必要。          環境への放出を避けること。</p>	
危険有害性の要約(2)	<p>&lt;&lt;応急措置&gt;&gt;          眼に入った場合: 水で数分間、大量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと。その後も洗浄を続けること。          眼の刺激が続く場合には、医師の診断/手当てを受けること。          取り扱った後、手をよく洗うこと。          気分が悪い時は、医師に連絡すること。          吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p>		

	<<保管>> 施錠して保管すること。容器を密封して換気の良い所で保管すること。 <<廃棄>> 内容物/容器を廃棄する場合は、(都道府県/市町村の規則にしたがって)許可を受けた廃棄業者によって廃棄する。				
組成及び成分情報	成分及び含有量(危険有害物質を対象)				
	成分名	CAS No.	含有量	備考	
応急処置	目に入った場合	直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。医師の診断を受けること。			
	皮膚に付着した場合	別に健康に問題がない。汚染防止のため水で洗い流す。			
	吸入した場合	空気の新鮮な場所で安静にする。必要があれば医師の診断を受ける。			
	飲み込んだ場合	コップ2杯の水を飲ませ、直ちに医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないようにすること。無理にはかせないこと。			
火災時の処置	使用可能消化剤	水(O)、炭酸ガス(O)、泡(O)、粉末(O)、乾燥砂(O) その他( )			
	消化方法	このものには可燃性がない。 ただし、大量に保管している場所での火災では缶が割れ蒸気爆発の可能性があり、急に水で冷やさないよう注意する。			
漏出時の注意	漏出物は密封できる容器に回収して安全な場所に移す。 スコップやウエスで回収し、大量の場合は盛り土などで囲い流出を防止すること。 付着物などの処理は関係法規に基づいて処置をすること。				
取扱、保管上の注意	取り扱い上の注意 常に換気の良い場所で取り扱うこと。 防腐剤が入っていないので、別の容器に小分けして使い、残った塗料を戻さないこと。容器はその都度密封すること。				
	保管上の注意 日光の当たらない通風の良い冷暗所で保管すること。 子供の手の届かない場所で保管し、凍らせないこと。				
暴露防止及保護処置	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他有害性
	設備対策 排気装置を付けて、換気を確実にできる設備にする。				
	保護具	目の保護	特に必要はないがスプレイの場合メガネを着用した方がよい。		
皮膚の保護		特に必要はない。			
呼吸器系の保護		スプレイの場合、適切な保護マスクが望ましい。			
その他の保護具					
物理/化学的特性	状態: 液体 pH値: 7-8 引火点: なし 蒸気圧: なし(mmHg/20C) 溶解度: 水溶性 分解温度: データなし 色: 白色 融点: 該当せず 発火点: なし 蒸気密度: 空気より重い n-オクタノール/水分分配係数: 混合物としてのデータなし 臭気: 僅か。 沸点: 110-130度 爆発限界: データなし 密度(比重): 1.02 その他: 特になし				

安定性及び 反応性	<p>接触による危険性のある物質 特になし。</p> <p>燃焼などによる有害性ガスの発生 このものは非可燃性であるが、塗膜が燃えた場合はCOとCO2のみ発生。 その他有害危険ガスの発生はない。</p> <p>その他の反応性情報 通常の状態では反応性はない。</p>
	<p>その他の危険性情報 特になし。</p>
有害性情報	<p>混合物としてのデータがないため単一物質のデータを記載。 特になし。</p> <p>&lt;&lt;製品に関する有害性情報&gt;&gt; 特になし。</p>
環境影響 情報	<p>廃棄のなどの際には環境に影響を与える恐れのある場合は取り扱いに注意する 特に排水路などには関係法規に注意すること。</p> <p>生態毒性：なし。</p> <p>残留性/分解性：混合物としてデータなし。</p> <p>生態蓄積性：混合物としてデータなし。</p> <p>土壌中の移動性：混合物としてデータなし。</p> <p>水性環境有害性(慢性)：混合物としてデータなし。</p>
廃棄上の 注意	<p>廃塗料、容器などの廃棄物は許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理すること。 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物については関係する各法律及び法規に 従って処理されること。</p>
輸送上の 注意	<p>共通： 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み、荷くずれ防止を 確実にすること。</p> <p>陸上輸送： 関係法規には該当しない。</p> <p>海上輸送： 船舶安全法には該当しない。</p> <p>航空輸送： 航空法には該当しない。</p> <p>国連番号： なし。</p>
適用法令	<p>関係法規には該当しない。</p>
その他	<p>主な引用文献 日本塗料工業会編集（原材料物質データベース） 国際化学物質安全カード(ICSC) NIOSH: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances,</p>
<p>「注意」 本データシートの記載内容は最善の調査に基づいて作製しておりますが、全ての情報を網羅したもの ではありませんので記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証する物ではありませ ん。製品の取扱いには十分な注意が必要です。 当安全データシートは日本国内法規を基準に作成したものです。</p>	